



おひざのうえで

(副園長の子育ておうえん通信)(30年3月②)



「保育環境」

せんりひじり幼稚園
副園長 安達かえで

先日のアンケートでは様々なご意見をありがとうございました。保護者の方々のご意見で勇気づけられたり、心に沁みる優しいお言葉をいただいたり、子育ての方向性が同じだと確認できたりしました。中には、「室内環境はよく見ていないから『どちらとも言えない』にしました。」というご意見や「カリキュラムってあるんですか?」というご意見もあり、私たちの説明が足りなかったかなと反省しました。

保育環境は、モデルルームの様に美しく整っていることが子どもにとっていい環境かという、全くそうではなくて、子どもがいかにか豊かに遊びを繰り広げることができるか・・・いかに遊びながら感じ学ぶことができる環境か・・・というのが乳幼児教育の保育環境として大切な観点かと思います。

少し専門的な話ですが、「エカース(保育環境評価スケール)」というアメリカで作られた、「保育環境を評価するシステム」があります。同志社女子大学の埋橋教授が翻訳して日本に導入し、私と主事の小野寺敦子はその評価者トレーニングチームに入っています。

保育環境の評価システムとは、たとえば、ごっこ遊びの環境や安全に関する環境、衛生に関する環境、身体を動かすことにふさわしい環境が整っているか。保育者の関わりなど、多くの評価項目を評価者がチェックします。

例えば以下のような項目があります。

- ・柔らかさのある家具(カーペットやソファー)が相当量あるか。
- ・自由遊びの時間が、1時間以上あるか。
- ・遊びの場が区分されていて少なくとも5つの活動コーナーがあるか。
- ・絵本は15冊以上あって決められたコーナーに置かれ、手に取りやすく、くつろいで読めるスペースがあるか。
- ・室内に一人または二人のための空間があり、保育者はそこで遊んでいる子どもに声をかけたり遊びについて話をするなど肯定的にかかわっているか。
- ・人形、子どもサイズの家具、おもちゃの食べ物、ままごと道具、など多種多様なごっこ遊びのための教材や遊具があるか。
- ・保育者は子どもが喜んで取り組めるように応答的であり、臨機応変にやり方を変えることができるか。

などなど・・・以上のような項目がなんと455項目もあり、評価者が何人か保育室に入り、その多くの項目に沿ってチェックをします。その後、協議をし総合点を付けます。

先日、このエカースを、(評価者のトレーニングの場として)せんりひじり幼稚園の3歳児のくま組で実施しました。大学の先生や他園の先生方が評価者となり、保育室環境をチェックをし、その後チェックしたことについての協議をし、総合得点を出します。

普段通りのくま組の保育室を見ていただきましたが、非常に高い点が付きました。(今まで私が参加した園の中で、最高得点でした！！) 子どもたちが様々な遊びを展開することができる、豊かな保育環境であると評価されたことになります。

日本にはまだまだ子どもが主体的に活動できるような保育環境になっていないところが、多く見られます。保育室の中のおもちゃは全て扉の中にしまい込まれていて、子どもが好きに使えないようにしているところを見たことがあります。部屋のまん中にコルク積み木しかなく、クラスの全員が群がってもめながら遊んでいるのを見たこともあります。そのような環境では、子どもたちが主体的に遊びながら感じたり学んだりすることができません。

せんりひじり幼稚園では、子どもの今の姿や育ちを、毎月学年ごとに話し合っただけで検証してきました。そして、子どもの育ちに合った環境はどんな環境かを考え、おもちゃの種類や教材の置き方や、コーナーの仕切り方などを工夫してきました。よく見たら様々なところに子どもの興味を引き出したり、遊びを広げたり深めたりするようなモノが置かれていると思います。

このように、子どもがやりたいことを見つけられる保育環境を準備し、子どもたちの遊びが広がったり深まったりするようなコーナーを工夫してきたことが、高い評価に繋がりました。

また、協議に加わった、くま組担任の澤野ゆりが、くま組の保育環境を設定した意図や思いを、評価者の方々にしっかりと語っていたことも誇りに思いました。

実はある出版社から、この春に出版される、「保育環境」の本の最終章に、せんりひじり幼稚園の実践事例と保育計画を掲載させてほしいとの依頼がありました。そして、くま組の水上あかねと澤野ゆりの「どんぐり活動」の実践事例や保育計画、年中組の保育環境と保育計画などを、園長と私と保育主任の藤原晴子で執筆しまとめました。(将来保育者を目指す人が読む本ですが。)

思わず遊びはじめたくなるような環境、夢中になって遊び込める環境、さらに工夫したくなるような環境は、子どもの主体性を伸ばします。そこから多くのことを学びます。遊びの中から学んだことは、教えられて与えられたことよりも深い学びにつながります。

これからも、子どもたちの姿や育ちを検証しつつ、わくわくするような保育環境を用意できればいいなと思っています。

.....
ご意見や感想があれば下記アドレスまでどうぞ。(必ずクラスとお名前を書いてくださいね。)
(返信はできないかもしれませんが・・・) kaede@hijiri.ed.jp



秋の保育室(バナナ組)
(多くの自然物を使って、様々な活動が生まれます)